

## 平成21年度(2009年度)事業報告

### 財団法人ジェスク音楽文化振興会 寄付行為より

第5条 この法人は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- 一 音楽祭及び音楽会の開催
- 二 音楽講習会等の開催
- 三 青少年に対する音楽普及
- 四 音楽に関する調査研究
- 五 音楽に関する出版物の刊行
- 六 音楽に関する国際交流
- 七 その他目的を達成するために必要な事業

### 事業の概要

#### 1. 音楽祭・音楽会事業

- (1) 第30回霧島国際音楽祭 (主催)
- (2) 第8回みやざきザハール・ブロン音楽祭(企画協力)
- (3) 第6回クールシュヴェール国際音楽アカデミーin かさま(企画制作)
- (4) 第4回仙台クラシックフェスティバル(せんくら)2009(企画制作)

## 1 - (1) 第30回霧島国際音楽祭 (主催)

- 《概要》 主催：鹿児島県、ジェスク音楽文化振興会、鹿児島県文化振興財団  
共催：霧島市  
日程：2009年7月24日(金)～8月9日(日)  
会場：霧島市/みやまコンセール(霧島国際音楽ホール) ほか
- 《事業内容》 演奏会：総演奏会数 46 公演 (主な演奏会 14 公演)  
講習会(マスタークラス)：8 コース/12 クラス、2 特別レッスン  
総出演者数：49 名、2 団体

1980年ゲルハルト・ボッセ氏(現・名誉音楽監督)と、鹿児島市民の手で立ち上げられ1984年にジェスク音楽文化振興会が設立、翌85年から主催。霧島市・鹿児島市のみならず、最近では沖永良部など離島や県内各地で開催される音楽祭は、今日では日本有数の歴史と内容を誇る音楽祭として、アジアを中心に年々受講生も観客も増加。大きな節目となる第30回を迎えた2009年度は過去最高の参加者数を記録し、有料コンサートも10公演中7公演が完売となるなど、大きな成果をあげることができた。また、当音楽祭出身の受講生が演奏家として活躍し、指導者として音楽祭に戻ってくるという循環が確立されていることも大きな果実として内外の評価を受けている。

### 過去10年間の参加者数 (2000～2009)

	第21回	第22回	第23回	第24回	第25回	第26回	第27回	第28回	第29回	第30回
観客数	10,223	10,020	10,185	11,649	11,733	11,372	10,039	12,019	12,199	14,047
受講数	116	106	104	138	142	151	155	169	154	153
聴講者	129	94	149	123	186	173	238	253	248	255
合計	10,468	10,220	10,438	11,910	12,061	11,696	10,432	12,441	12,601	14,455

第27回は豪雨のため中止1公演。

### 1. 演奏会について

第30回という節目に際し、『国際性』『地元密着』『フェスティバル性』の3つの柱で、将来の発展を目指し、新たな方向性を打ち出すための企画が組まれた。従来の公演の内容を見直し、新たな企画を追加、フェスティバル性を意識したラインナップとなり、さらに徹底的に広報を展開した結果、有料公演のうち半数以上がほぼ完売という結果になった。また鹿児島県からは特別予算を組んでいただき、各コンサートの充実、宣伝の拡充、そして県内外小中学生と保護者の招待に充てられた。

## 2. 講習会(マスタークラス)について

創設者ゲルハルト・ボッセ教授の理念「自立できる音楽家の養成」を中心に、独奏、室内楽、オーケストラ演奏の体験と技術の習得はもとより、講師・アーティストと受講生が一体となった全人格的カリキュラムを組んだ。堤剛音楽監督を中心とする講師陣のもと、受講生のレベルは年々上がっており、近年は海外からもアジアを中心に多くの受講生が参加するようになってきている。本年度は、世界的な経済不況と円高という悪条件にもかかわらず、全受講生の15パーセント以上にあたる24名の海外受講生が参加した。

また、将来が期待される受講生が、経済的理由で参加できない状況が改善されるように、従来から実施されていた奨学金制度を再整備し門戸を広げ、過去最大規模の奨学金を授与した。

マスタークラス参加受講生数

コース	教授	受講生数	奨学生	外国籍
ヴァイオリン	D.ゲーデ	15	3	台湾 2、シンガポール 1
	藤原浜雄	16	1	香港 1
	景山誠治	14		
ヴィオラ	店村眞積	8		
チェロ	堤 剛	22	16	台湾 1、韓国 14
ピアノ	ダン・タイ・ソン	12	8	シンガポール 1、ポーランド 1、スペイン 1
	練木繁夫	19	2	
	若林 顕	13		
フルート	E.バイノン	6		韓国 1
トランペット	高橋 敦	6		
ホルン	西條貴人	12	1	台湾 1
室内楽	松原勝也	10	1	
	田中雅弘	(団体 1)		
	練木繁夫	(個人 6)		
	若林 顕			
合計		153 人	32 人	24 人

## 1-(2) 第8回みやざきザハール・ブロン音楽祭 (企画協力)

故寺原伸夫氏(宮崎出身の作曲家)との縁で、宮崎で行なわれてきたザハール・ブロン氏の演奏会を発展させ、2002年度より宮崎市(2006年度より財団法人宮崎文化振興協会)の主催により音楽祭として開催。2009年度は地元の弦楽合奏団とのヴィヴァルディの『四季』を取り入れるなど一般向けの演奏会のほか、公開レッスン、小中学生を対象にした演奏会や市内の小学校を訪問するアウトリーチなど、地域に根ざした企画を実施した。

### 《概要》

日程： 2010年1月13日(水)～1月17日(日)

会場： 宮崎市民プラザ

演奏会・講習会：

#### 小・中学生のための演奏会

開催日	開演	出演者	対象・会場
1月13日(水)	10:00 小学生の部 14:00 中学生の部	ザハール・ブロン、木嶋真優(ヴァイオリン)、イリーナ・ヴィノグラードワ(ピアノ)	宮崎市内小学生および中学生 宮崎市民プラザ オルブライトホール

#### アウトリーチ

開催日	出演者	対象
1月14日(木)	木嶋真優(ヴァイオリン)ほか	宮崎市内の小学校2校

#### ヴァイオリンセミナー

開催日	時間	講師	受講生・会場
1月15日(金)	13:00～20:10	ザハール・ブロン	一般公募の小学生～高校生 計14名
1月17日(日)	10:00～17:25		宮崎市民プラザ オルブライトホール

#### ザハール・ブロン&木嶋真優デュオコンサート

開催日	開演	出演	会場
1月16日(土)	15:00	ザハール・ブロン、木嶋真優(ヴァイオリン)、イリーナ・ヴィノグラードワ(ピアノ) みやざきザハール・ブロン音楽祭室内合奏団	宮崎市民プラザ オルブライトホール

## 1-(3) 第6回クールシュヴェール国際音楽アカデミー in かさま

### (企画制作)

イタリア国境に近いフランスのリゾート地クールシュヴェールで毎夏開催されている講習会の日本開催版として2005年より開催。主催は、クールシュヴェール国際音楽アカデミー in かさま実行委員会、音楽監督は桐朋学園大学弦楽科教授の辰巳明子氏が務め、本国アカデミーの講師のほか、国内外の一流講師を招き、質の高いレッスンを実施した。

日程： 2010年3月21日(日)～3月30日(火)

会場： 茨城県教育研修センター(茨城県笠間市)

講師：

[ヴァイオリン] ザハール・ブロン(ケルン音楽大学、チューリヒ音楽院教授)

ドン・スーク・カン(ヨンセイ大学教授)

辰巳 明子(桐朋学園大学教授)

[ピアノ] パスカル・ドゥヴァイヨン(ベルリン芸術大学、ジュネーヴ音楽院教授)

ジャック・ルヴィエ(パリ音楽院、ベルリン芸術大学教授)

岡本 美智子(桐朋学園大学教授)

若林 顕(桐朋学園大学特任教授)

青柳 晋(東京芸術大学准教授)

ドン・スーク・カンとパスカル・ドゥヴァイヨンは、本国アカデミーの芸術監督。

受講生：日本全国からオーディションにより選ばれた72名

(ヴァイオリン35名、ピアノ37名)

### コンサート

開催日	開演	場所	出演者
3月21日(日)	19:00	笠間公民館	ザハール・ブロン(ヴァイオリン)
3月27日(土)	18:00	笠間公民館	ドン・スーク・カン(ヴァイオリン) パスカル・ドゥヴァイヨン(ピアノ)
3月28日(日)	18:30	茨城県研修センター レストラン	若林 顕(ピアノ)

### セミナー・講習会

開催日	開演	場所	講師・内容
3月25日(木)	18:30	茨城県研修センター 大会議室	梅津時比古(毎日新聞社学芸部専門編集委員) 「音楽において伝わるもの」
3月27日(土)	14:30	友部公民館	西原稔(桐朋学園大学教授) 「生誕200年ショパンをめぐって」

## 受講生コンサート

開催日	開演	場所	講師・内容
3月29日(月)	17:00	笠間公民館	講師より推薦を受けた受講生

## 1-(4) 第4回仙台クラシックフェスティバル(せんくら) 2009

(企画制作)

《概要》	<u>主催</u>	仙台市、仙台放送、仙台市文化事業団
	<u>企画・制作</u>	ジェスク音楽文化振興会
	<u>日程</u>	2009年10月2日(金)～4日(日)
	<u>会場</u>	仙台市青年文化センター、イズミティ21ほか
《事業内容》	<u>演奏会</u>	

仙台クラシックフェスティバル(せんくら)は仙台市の新しい取組みとして2006年より始まり、2009年からは実行委員会を主体とした運営に変わる。そこで、仙台市文化事業団より当財団への依頼があり、第4回から企画・制作として当財団が関わることとなった。主催の中心は仙台放送(フジテレビ系)。仙台市は委託金を支払い共催している。第4回をのべ4万人の来場者で終了した。

45分1コマ¥1000～2000円(60分)の低料金で気軽にクラシックの名曲を楽しむというコンセプト。市内4施設9会場での3日間、約100回の公演を実施。地元仙台フィルのほか、コンセプトに賛同した内外40名のソリストたちが出演。ほかに仙台コンクール入賞者、仙台出身の演奏家、仙台在住の音楽家の参加も特徴。

出演者は：

鮫島有美子、鈴木慶江、河野克典、横山幸雄、若林顕、原田節、三浦友里枝、三船優子、河村尚子、斎藤雅広、イリナ・メジューエワ、漆原啓子、川久保賜紀、郷古廉、鈴木理恵子、米元響子、伝田正秀、西江辰郎、長谷川陽子、遠藤真理、原田哲男、須川展也、赤坂達三、宮本文昭、福田進一、セッポ・キマネン、パスカル・ドゥヴァイヨンほか。

## 2. 音楽講習会事業

### (1) 芸術家への道

《概要》	主催	鹿児島県
	実施主体	鹿児島県文化振興財団(みやまコンセール)
	協力	ジェスク音楽文化振興会 鹿児島県自然ふれあいセンター
	日程	2009年8月10日(月)～13日(木)
	会場	みやまコンセール
《事業内容》	講習会(レッスンとレクチャー)、受講生発表会	

霧島国際音楽祭の受講生の国際化と水準の高まる中、将来鹿児島県の音楽文化を担う人材育成のために2007年度より始められた事業。当財団が企画・運営の一部を担当した。受講料は無料で、受講生は鹿児島県在住者に限られる。

コース	講師名	受講生
ヴァイオリン	松原勝也(東京芸術大学准教授)	7人
ピアノ	若林 顕(桐朋学園大学特任教授、桐朋学園大学院大学教授)	7人

### (2) その他

このほか、事業の一環として次の活動を実施した。

1. 「霧島国際音楽祭」におけるマスター・クラス、レクチャーコンサート、ふれあいコンサート、公開レッスン、ピアノ教師のためのワークショップ
2. 「みやざきザハール・ブロン音楽祭」のヴァイオリン・セミナー
3. 「クールシュヴェール国際音楽アカデミー in かさま」講習会  
(ヴァイオリン、ピアノ)

## 3. 青少年に対する音楽普及活動

(1) 青少年に対する音楽普及活動は、音楽祭・音楽会事業の一として下記のものを実施した。

- ・ 『霧島国際音楽祭』における青少年のためのコンサート / ファミリー・コンサート / 小中学生、音楽教科書鑑賞曲目をコンサートで聴くキッズ・コンサート吹奏楽、プラスを学ぶ中高生向け、管楽器コンサートの実施 ほか

- ・ 同じく鹿児島県の小中学生親子 500 組 1000 名を期間中複数のコンサートに招待。
- ・ 『宮崎ブロン音楽祭』における地元小中学生のための無料コンサート等実施。
- ・ 『せんくら』における子供用企画（『くるみ割り人形』朗読つき三船優子のピアノ）等を複数回実施。

（２）また現在、当財団の関係する公演においては、原則的に学生券を設け、廉価で青少年の音楽会鑑賞を促進している。

## 4 . 音楽に関する調査・研究事業

具体的な事業は実施できなかった。

## 5 . 音楽に関する出版物の刊行事業

### （１）刊行物の出版

出版の準備を進めていた下記を出版した。

ショパン／パデレフスキ版 . 小品集

### （２）刊行物の頒布

前年度にひきつづき、1年間下記のとおり、従来からの楽譜等の頒布を継続した。

[参考] 主要刊行物リスト

ザハール・ブロン編集・解説

「エチュードの技法」 「ヴェータン：ヴァイオリン協奏曲 第5番」

ドヴォルジャーク

「スラヴ舞曲集作品46（連弾）」、「スラヴ舞曲集作品72（連弾）」

「スラヴ舞曲集作品46（スコア）」、「スラヴ舞曲集作品72（スコア）」

「交響曲第8番作品88」、「交響曲第9番作品95」、「チェロ協奏曲作品104」

ショパン／パデレフスキ版

- ・ プレリユード、 . エチュード、 . バラード、 . 即興曲、 . スケルツォ、
- ・ ソナタ、 . ノクターン、 . ポロネーズ、 . ワルツ、 . マズルカ、
- ・ 幻想曲・子守歌・舟歌、 . 演奏会用アレグロ変奏曲、
- ・ ピアノ協奏曲、 . 小品集（2010年3月新刊）

子供のためのピアノ曲集・ねこシリーズ

ガルシチャ「ピアノのための小品集」、「わたしと一緒に弾きましょう」



フンジャク「サーカス」、リビツキ「わたしは弾きはじめる」 他  
ルー・ハリソン著 「ワールド・ミュージック入門」

### (3) 調査検討

前年度にひきつづき、以下の新たな出版物につき調査検討を行った。

- ・パデレフスキ版ショパン全集の続刊の出版検討  
    . 管弦楽付ピアノ作品、    . 歌曲 他

## 6 . 音楽に関する国際交流事業

### (1) 国際交流事業

当財団寄付行為にある「 . 音楽祭・音楽会事業」の一環（霧島国際音楽祭）や「仙台クラシックフェスティバル」等における交流会開催や海外受講生の招聘、広報活動）として実施する。

### (2) ジェスク音楽基金

日本ポーランド友好音楽基金から新たに「ジェスク音楽基金」という名称のもと、当財団の新たな音楽基金とした。2010年度の霧島国際音楽祭などから、世界の若き音楽家の育成など、音楽文化の発展のために有効に活用してゆく。

## 7 . その他

以上の他、次の事業を行い、音楽文化振興に貢献した。

### 邦人演奏家マネージメント事業

当財団の主催および企画制作事業で縁の深い、以下の邦人アーティストのスケジュール管理、紹介などマネージメントを行った。

所属演奏家（2009年4月1日現在）

\* 四方 恭子 [ ヴァイオリン ]

（京都市立芸術大学助教授、兵庫芸術文化センター管弦楽団コンサートミストレス、東京都交響楽団コンサートミストレス、霧島国際音楽祭招待アーティスト）

\* 田中 雅弘 [チェロ]

(東京都交響楽団首席奏者、霧島国際音楽祭教授)

\* 横川 晴児 [クラリネット]

(NHK 交響楽団首席奏者 2010 年 2 月退団)

協力アーティスト

\* 弓 新 [ヴァイオリン]

(16 歳、クールシュベール in 笠間、霧島音楽祭にも受講生として参加。  
ザハール・ブロン、辰巳明子両氏よりの要請でマネージメント協力)

\* パスカル・ドゥヴァイヨン & 村田理夏子 [ピアノ・デュオ]